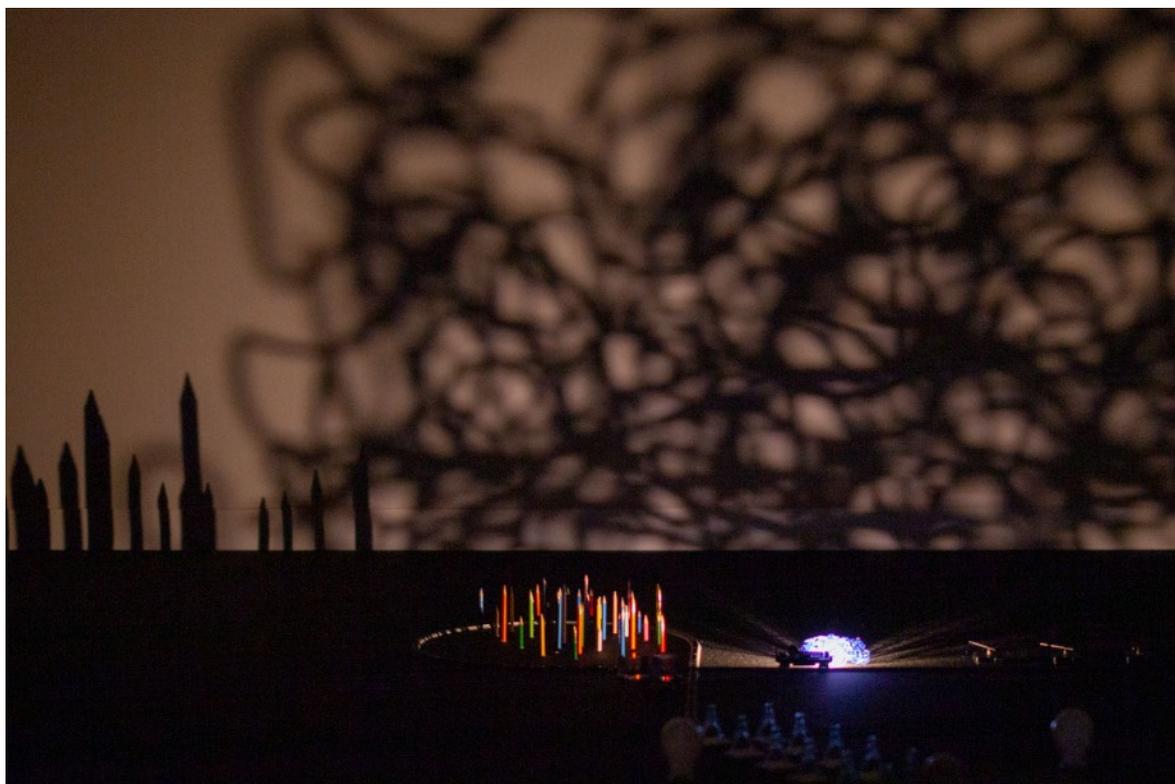


2025年は個人研究として、主に点光源による影のプロジェクトンを行うインスタレーションを継続して制作・展示した。なお、展示活動等は学内外を問わず「クワクポリョウタ」名義で行なっている。

#### 学外での活動（展示）

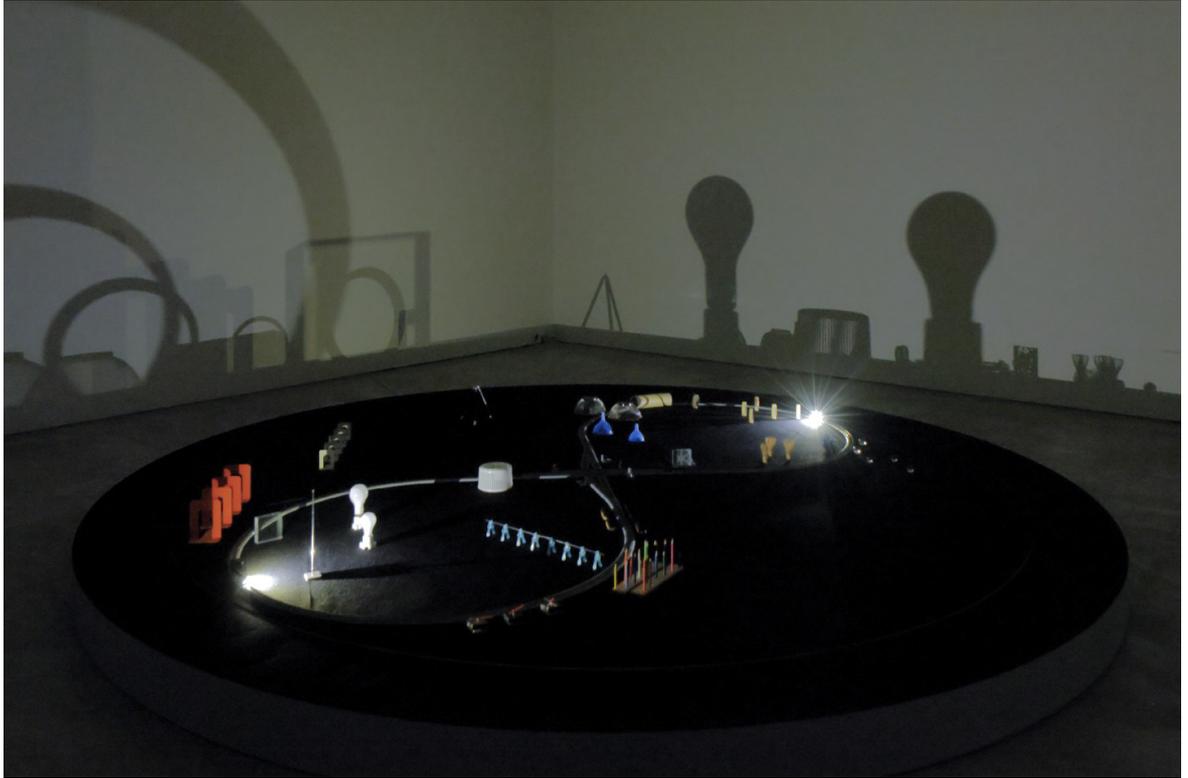
1 『IAMAS ARTIST FILE #10 繭/COCOON:技術から思考するエコロジー』  
(岐阜県美術館、2025/1/10 ~ 3/9)

2010年に発表した《10番目の感傷（点・線・面）》の別バージョンとして《LOST Diversion》を展示した。同じモチーフを用いつつ配置を変えたり、光源を備えた台車を逆向きに走行させるなど、構成が異なる。これは、初期のデジタル・サンプラーFairlight CMIを使用したThe Art of Noiseの楽曲制作（同一曲の多数の別バージョン）をアナロジーとし、同じリソースのリサイクルを試みたものである。



2 『小湊鉄道開業100周年記念展「古往今来・発車オーライ！」』  
(市原湖畔美術館、2025/4/26 ~ 9/15)

千葉県の小湊鉄道100周年記念展に作品《無限 交差 区間》を出品した。無限(∞)を描く単線を、創業当時の蒸気機関車と現在運行している気動車の模型が逆方向に走り、中央の行き違い区間ですれ違う。また、レイアウト全体を載せたターンテーブルが回転することで、複雑な視覚体験を構成した。



3 『第7回つくばメディアアートフェスティバル』  
(茨城県つくば美術館、2025/8/1 ~ 11)

複数の光源を用いて、鑑賞者の身体の影を合成するインスタレーション《以心分身》(2015)のつくばバージョンを展示した。4つのマスキングした光源を用い、特定の場所に立つと2人の上半身・下半身が入れ替わるように構成した。



## 学外での活動（その他）

### 1 ワークショップ『清流の国ぎふ芸術祭 「アート体験プログラム ―アートラボぎふ―』 (羽島市立福寿小学校、2025/12/19)

小学校での作品鑑賞会およびワークショップを実施した。

校舎内に《10番目の感傷（点・線・面）》を展示し、児童・学校関係者に公開した。

また、小学6年生の全児童を対象に2回に分けてワークショップを実施。各々が持ち寄った日用品等と、点光源を使用して動く影絵を作る体験を指導した。

